

小原和紙のふるさと

豊田市小原和紙のふるさは、小原和紙美術館、和紙工芸体験館、和紙とうるし工房などからなる和紙の総合施設です。小原の自然に囲まれた広大な敷地には、和紙原料植物の見本園や遊歩道なども整備されています。春のミツマタ、初夏のササユリや紅葉に映えるシキザクラなど、四季折々の草花や鳥のさえずりが私たちを迎えてくれます。

和紙とうるし工房



和紙とうるし工房は、本格的に和紙やうるしで作品作りをしたいフリーターやワークショップなどに利用いただけます。



利用時間 第1区分：午前9時から午後1時まで(4時間)
第2区分：午後1時から午後5時まで(4時間)

部屋名	1区分使用料	※原材料は利用者で用意してください。(ご相談承ります)
紙芸研修室	600円	
うるし芸室	250円	※和紙とうるし工房で選べる
交流スペース	500円	紙の大きさ 1m×2m

利用予約：TEL 0565-65-2151

小原和紙のふるさと園内



交通のご案内
バス ●名鉄豊田市駅から「とよたおいでんバス」小原豊田線 上仁木行き「和紙のふるさと」下車。
お車 ●東海環状自動車道 豊田藤岡I.C. 猿投グリーンロード 中山I.C.から、瑞浪方面へ15km。

開館時間 午前9時～午後4時30分 **休館日** 月曜日及び12月28日～1月4日 (月曜日が休日の場合は開館)

豊田市小原和紙のふるさと

〒470-0562 愛知県豊田市永太郎町洞216-1

豊田市小原和紙のふるさと事務局(小原和紙美術館内)
TEL 0565-65-2151 FAX 0565-66-1001
和紙工芸体験館(体験実習予約・お問合せ)
TEL/FAX 0565-65-2953

e-mail:washinofurusato@city.toyota.aichi.jp
http://www.washinofurusato.jp/



創作の拠点

小原和紙

小原和紙美術館
和紙工芸体験館
和紙とうるし工房

豊田市小原和紙のふるさと

豊田小原和紙工芸

豊田市小原地区では、室町時代に僧 柏庭の教えにより和紙を漉き始めたと言われてます。昭和初期までは地区内各地で「三河森下紙」という番傘に用いる紙を生産していましたが、その後生活様式の変化などに伴い、需要は激減していました。

そのようななか、昭和7年(1932年)に工芸家・藤井達吉は小原の和紙の質の良さに着目しました。藤井は地区の紙漉きたちに、紙漉きの時に、簾の上の原料が乾く前に菊や萱穂などの植物を加える「漉きこみ」という技法を用いた、工芸品として価値の高い紙を漉くように指導しました。さらに昭和20年(1945年)にはこの地に疎開し、地区の若者たちとともに、染色した原料と型紙を組み合わせて絵画画面を造りあげる、独自の「豊田小原和紙工芸」を考案しました。藤井の尽力によって、小原の和紙は単なる素材としての和紙ではなく、紙そのものが鑑賞に値し、見る人の心を和ませる美しい芸術作品へと生まれ変わりました。また同時に藤井は、和紙で成型した器に漆を塗布して仕上げる一閑張の指導者を伴い、その技術をこの地に伝承しました。

現在小原では「文化芸術によって村を興し、発展させよ」という藤井の高い志を継ぐ豊田小原和紙工芸作家によって、額絵、襖、屏風、一閑張、そのほか現代の生活様式にも溶け込む壁紙やランプシェードなどが制作されています。



春日井 正義「鳥屋平園」(藤井のアトリエ)